

平成30年度
ふるさと島根寄附金活用事業成果報告書
～平成29年度寄附金を活用した事業の成果～

(問い合わせ先)

〒690-8501 松江市殿町1番地

島根県政策企画監室

電話番号：0852-22-6063

FAX番号：0852-22-6034

電子メール：kifu@pref.shimane.lg.jp

～目 次～

1	活用成果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1 -
2	寄附金を活用して実施した事業の成果・・・・・・・・	- 2 -
	（1）産業の振興に関する事業・・・・・・・・	- 2 -
	（2）自然環境の保全に関する事業・・・・・・・・	- 5 -
	（3）医療・福祉の充実に関する事業・・・・・・・・	- 7 -
	（4）教育・文化の振興に関する事業・・・・・・・・	- 10 -
	（5）子どもの読書活動の促進に関する事業・・・・・・・・	- 12 -
	（6）竹島の領土権の確立に関する事業・・・・・・・・	- 13 -
	（7）森林の保全及び整備に関する事業・・・・・・・・	- 14 -
	（8）防災対策の推進に関する事業・・・・・・・・	- 15 -

1 活用成果の概要

平成29年度は2,102名の方から36,692,732円の寄附をいただきました。
いただいた寄附は、ふるさと島根基金に積立て、次のとおり平成30年度の事業に一部を活用させていただきました。

寄 附 メニュー	寄附を活用した 事業費（円）	平成29年度 寄附額（円）
産業の振興	48,678,081	1,172,000
自然環境の保全	3,245,566	2,341,500
医療・福祉の充実	10,437,542	2,182,000
教育・文化の振興	15,040,366	2,351,000
子どもの 読書活動の促進	2,057,000	1,516,500
竹島の領土権の確立	6,587,821	4,745,905
森林の保全及び整備	43,298,787	862,000
防災対策の推進	714,000	342,000
移住及び定住の促進	-	※ 507,000
結婚・出産・子育て の支援	-	※ 1,571,000
事業の指定なし	-	※ 19,101,827
合計	130,059,163	36,692,732

※「移住及び定住の促進」分は、「教育・文化の振興」の事業と併せて活用させていただきました。

※「結婚・出産・子育ての支援」分は、「医療・福祉の充実」の事業と併せて活用させていただきました。

※「事業の指定なし」分は、「産業の振興」に配分して活用させていただきました。

2 寄附金を活用して実施した事業の成果

(1) 産業の振興に関する事業

【対象事業】

- ① 地域 IT 人材育成強化支援事業
- ② 島根県グローバル人材育成支援事業

【事業の成果及び事業費】

- ① 地域 IT 人材育成強化支援事業

将来の島根県のIT産業を担う人材を育成するため、県内各地域のIT産業が求める人材ニーズに沿って、域内IT企業と専門高校が連携したモデル授業を行いました。また、島根大学、松江高専などの高等教育機関では高度実践的人材の育成講座を行いました。

事業費：38,801千円

(1) 専門高校の生徒を対象としたIT人材育成モデル授業

i) 松江商業高校

情報処理科3年生40名を対象に7月から12月まで、地元企業の指導のもと同校で12月に開催されるイベント（松商フェア）で利用するアプリケーションを開発する授業を行いました。

ii) 出雲商業高校

情報処理科3年生で選抜された8名を対象に9月から1月まで、地元企業の指導のもと学校内の課題を解決するアプリケーションを開発する授業を行いました。

iii) 浜田商業高校

情報処理科3年35名を対象に6月から1月まで、地元企業の指導のもと身近な課題をITで解決するビジネスモデルの発案と基礎的な技術を習得する授業を行いました。

iv) 情報科学高校

情報システム科2年生40名、3年生27名を対象に5月から12月まで、地元企業の指導のもとセンサーネットワーク、自動制御、遠隔計測カリキュラム及び開発技術を習得する講座を行いました。

v) 隠岐高校

商業科2年24名を対象に4月から7月まで、地元企業の指導のもと地域課題の解決をテーマにホームページ作成や地図アプリなどの開発技術

を習得する授業を行いました。

vi) 邇摩高校

総合学科2年生20名が受講し、地元企業・外部講師の指導のもと複数のチームに分かれて11月～12月（3日間）に地域課題の発見、解決方法の提案を行う講座を行いました。

（各校授業の様子）



(2) 島根大学「高度IT人材育成事業」

10月から1月まで情報系学生9名を対象に、地元IT企業と共同でITを活用して地域の課題を解決する実践的な講座を行いました。



（最終発表会の様子）

(3) 松江高専「デザインプロセス習得講座」

2月に情報工学科2，3年生14名を対象に、3～4名のチームに分かれて、地元IT企業をユーザー役として、ユーザーの課題・願望を抽出し、よりよいサービス・商品を生み出すための手法やスマホを使った開発技術を習得する講座を行いました。



（講座の様子）

(4) 学校法人斐川コア学園

情報システム科1，2生8名を対象に、地元IT企業の指導のもと、7月から9月まではセンサーネットワーク、自動制御、遠隔計測カリキュラム及び開発技術を習得する講座を、9月から3月まではチャットボットの開発技術を習得する講座を行いました。

② 島根県グローバル人材育成支援事業

島根県内企業でのインターンシップと海外留学を通じて、卒業後、県内産業・地域活性化に貢献するグローバルな人材を育成し、県内への定着を図ることを目的として、応募者のうちから県内外の高等教育機関に通う7名の学生（島根大学3名、島根県立大学生1名、松江高専生1名、県外高等教育機関に通う学生2名）を選定し派遣を行いました。

事業費：9,878千円

留学生活動実績

No	高等教育機関名	留学先	目的
1	島根大	アメリカ	島根の魅力を発信！ 音楽×グローバル化×観光
2	島根大	インド	インド×Ruby で人口不足を解消
3	島根大	オーストリア、フランス、オランダ	島根県の農業に貢献できる技術を学ぶ
4	島根県立大	アメリカ	島根の未来のまちづくりを先進都市ポートランドから学ぶ
5	松江高専	シンガポール	島根から海外へ向けた情報発信システムの構築により伝統を守る！
6	安田女子大	オーストラリア	島根のまだ知られぬ魅力を世界へ
7	宇部高専	台湾	島根にインバウンド観光客を呼び込む！



平成30年度留学生知事表敬訪問時の様子

(2) 自然環境の保全に関する事業

【対象事業名】

宍道湖・中海賢明利用促進事業

【事業の成果・事業費】

自然豊かな宍道湖・中海への関心を深めてもらうとともに、水質保全等の環境意識を高め、ラムサール条約の柱である、保全再生、賢明な利用（ワイズユース）、環境教育、交流、普及啓発の事業を実施しました。

事業費：2,293千円

- (1) 水辺に親しむ環境学習・普及啓発事業として、周辺住民の参加により人の五感で宍道湖・中海の評価を行う「湖沼環境モニター」事業を実施しました。

また、小中学生を対象とした流入河川調査では、中海に流入する河川の水質調査だけでなく、学校独自の調査も実施し、学習発表会やポスター作成など優秀な取り組みを行った学校を表彰しました。



流入河川調査



- (2) 宍道湖・中海で活動する子どもたちと兵庫県豊岡市及び熊本県荒尾市周辺の湿地で活動する子どもたちと水鳥を主テーマとした交流会を鳥取県と共同で開催しました。



水鳥観察



宍道湖自然館ゴビウス見学

(3) 宍道湖・中海の沿岸市の各会場で、中海・宍道湖一斉清掃を実施しました。7,050人が参加し、全体で12.63トンのゴミを収集しました。



【対象事業名】

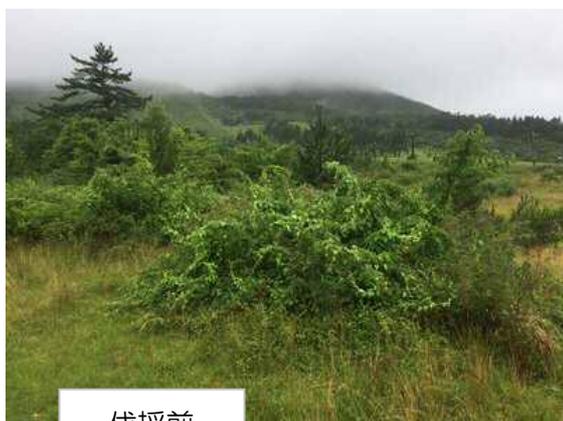
三瓶山草原環境再生事業

【事業の成果・事業費】

三瓶山山麓の草原地帯（東の原）の5haにおいて、木の除去やイバラの刈り払い等を実施しました。

草原環境が再生・回復することにより、今後放牧による山麓の牧歌的な草原景観の維持及びダイコクコガネ（条例指定種）の生息環境の改善が期待されます。

事業費：953千円



伐採前



伐採後

(3) 医療・福祉の充実に関する事業

【対象事業】

- ① 障がい者施策支援事業（ヘルプマーク普及事業）
- ② 障がい者施策支援事業（山陰両県共同啓発事業「あいサポート運動」）
- ③ しまね保育実習等旅費支援事業

【事業の成果及び事業費】

- ① 障がい者施策支援事業（山陰両県共同啓発事業「あいサポート運動」）

島根県社会福祉協議会（及び市町村社会福祉協議会）によるあいサポーター研修や講師（メッセンジャー）養成研修を実施しました。

また、本研修で使用する島根県の実情を盛り込んだ啓発用DVDを作成し、令和元年度以降あいサポーター研修で教材として活用することとしています。

事業費：8,334千円

あいサポート研修回数	184回
あいサポーター数	5,899人
メッセンジャー数	104人



あいサポート制度パンフレット（抜粋）

② 障がい者施策支援事業（ヘルプマーク普及事業）

外見からは援助や配慮を必要としていることが分かりにくい障がいのある方などに、周囲に配慮を必要としていることを知らせるための「ヘルプマーク」を作成し配布しました。

併せて、障がいの特性や必要な配慮を学び実践する「あいサポート運動」の研修教材にマークの意味や必要な援助を盛り込み、マークへの理解を促進しました。

事業費：911千円

ヘルプマーク配布数 962枚

あいサポート研修回数 184回

島根県

ヘルプマークを知っていますか？
援助が必要な方のためのマークです。

外見からは分からなくても援助が必要な方がいます。
このマークを見かけたら、電車内で席をゆずる、
困っているようであれば声をかける等、
思いやりのある行動をお願いします。

配慮を必要としている方のための
「ヘルプマーク」の普及に取り組んでいます。

義足や人工関節を使用している方、内部障がいの方、難病の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方がいます。
そうした方々が身につけることで、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくする、「ヘルプマーク」の普及に取り組んでいます。

電車・バスの中で、席をお譲りください。
外見では隠れていても、座れやすかったり、つり革につかまり難いなど同じ座席を保持することが困難な方がいます。また、外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目であられ、ストレスを受けることがあります。

駅や商業施設等で、声をかけるなどの配慮をお願いします。
交通機関の事故等、突発的な出来事に対して直観的に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいます。

災害時は、安全に避難するための支援をお願いします。
視覚障がいや聴覚障がい等により状況把握が難しい方、肢体不自由等により自力での迅速な避難が困難な方がいます。

知ってください「ヘルプカード」
「ヘルプカード」は、障がいのある方が身につけて持ち歩くことができるためのものです。
「援助が必要な人」と「手助けできる人」を記すカードです。障がいのある方を助けるヘルプカードの発行がありましたら、記載されている内容によって支援をお願いします。
ヘルプカードには、個人情報が多く書かれますので、取扱いには十分注意してください。

【交付場所】 ヘルプマークは、市町村及び県（障がい福祉課、保健課、心と体の相談センター）で交付しています。
ヘルプカードは、県視覚障がい福祉課のホームページでダウンロードすることができます。

【交付対象】 内部障がいや難病の方（申請等の手続きは無い）、社会福祉の方など、援助や配慮を必要としている方

（問い合わせ先） 島根県健康福祉部障がい福祉課
〒690-8501 松江市新町1番地 電話 0852-22-6685 FAX 0852-22-6687

事業啓発用チラシ

③ しまね保育実習等旅費支援事業

保育士を目指す島根県外の指定保育士養成施設の学生を対象に、卒業後の島根県内での就職の促進及び子どもを安心して育てることができる環境整備を目的として、島根県内の保育所等における保育実習等で必要となる旅費の助成を行いました。

旅費の助成を行った90名のうち、平成31年3月に卒業され、進路先が判っている40名のうち31名の方が、島根県内の保育所等に就職され、保育士としてご活躍されています。

事業費：1,193千円



(実習の様子)

島根県外の
保育士養成
施設の学生
のみならず

島根で保育実習等を行う際の 旅費を助成します

利用者の声

保育実習をどこでしようかな？

島根で就業体験やボランティアもしてみてもうかがいにかー就職のきっかけにもなるかも

そうだ！「しまね」で実習しよう!!

申し込みは簡単です!

助成金額 (各事例) 申請し得る旅費の上限額

旅費の種別	実習先(施設)別の旅費		
	津和野	津和野	隠岐
津和野	6,600円	9,300円	8,500円
隠岐	8,000円	14,200円	10,600円
北島	6,100円	5,300円	14,700円
山陰	9,300円	6,600円	13,200円
石見	11,800円	17,600円	14,200円

しまね保育実習等旅費支援事業

応募資格
県外の保育士養成施設に在学し、島根県で実習や就業体験を行う学生 ※ボランティアも可

申請方法
申請書・学生証の写し等の書類を提出

詳しくは、ホームページをご覧ください

お問合せ・申請書提出先 <http://www.shimane-jc.com/>

島根県社会福祉協議会(島根県福祉人材センター)
〒690-0011 松江市長瀬町1741-3 いそいそプラザ裏棟2F
TEL: 0852-32-5957 FAX: 0852-32-5956

案内ポスター

(4) 教育・文化の振興に関する事業

【対象事業】

- ① 島根の子どもたちの隠岐体験学習事業
- ② 隠岐の伝統芸能公演 in 出雲

【事業の成果及び事業費】

① 島根の子どもたちの隠岐体験学習事業

子どもたちのふるさと愛の醸成を行い、地域振興・観光振興に寄与する人材を育成するため、隠岐の島前と島後に分かれて体験学習を実施しました。

- ・前半行程：平成30年7月25日～27日

参加者数：49名（本土の子ども：43名、隠岐の子ども6名）

- ・後半行程：平成30年8月2日～4日

参加者数：45名（本土の子ども：42名、隠岐の子ども3名）

事業費：14,144千円



② 隠岐の伝統芸能公演 in出雲

ふだんは隠岐でしか観ることのできない貴重な伝統芸能を、古代出雲歴史博物館で開催の企画展「隠岐の祭礼と芸能」と併せることで県内外の幅広い人たちに観てもらい、隠岐および島根の歴史・文化への理解をより深めてもらうことを目的に「芸能公演！隠岐国分寺蓮華会舞」を開催しました。

定員600人のところ、会場は満員。隠岐国分寺蓮華会舞保存会の皆様によって6つの舞を1時間半かけて披露して頂きました。

事業費：896千円

(1)内 容

「芸能公演！隠岐国分寺蓮華会舞」

(2)日 時

平成31年2月10日（日）

(3)会 場

大社文化プレイスうらら館（出雲市大社町杵築南1338-9）

(4)出 演

隠岐国分寺蓮華会舞保存会19名

(5)観覧者

600人



(5) 子どもの読書活動の促進に関する事業

【対象事業】

- ① おすすめしたいこどものほん
- ② 学校図書館活用教育図書整備事業

【事業の成果及び事業費】

- ① おすすめしたいこどものほん

推薦図書リスト「おすすめしたいこどものほん」（乳幼児向）（小学生向）に掲載する本の選書と購入を行い、県民や図書館、学校等の団体に貸し出しました。

また、市町村立図書館、幼稚園、読み聞かせボランティア等の活動に役立てるために、県立図書館と西部読書普及センターの2箇所、リストに掲載された図書を整備し、5市町で巡回展示を実施しました。

購入冊数：821冊

事業費：1,620千円

- ② 学校図書館活用教育図書整備事業

義務教育段階における読書活動の充実を図るため、全ての市町村に寄託している「学校図書館活用教育図書」について、内容の古くなった図書や、教科書の改訂で新たに必要となった図書の買換えや補充をすることができました。

このことで、蔵書不足に悩む学校図書館や市町村図書館への支援につながったほか、各市町村図書館が域内の小中学校に貸し出しをすることで、公共図書館と学校図書館の連携が深まりました。

購入冊数：153冊

事業費：437千円

(6) 竹島の領土権の確立に関する事業

【対象事業】

竹島の領土権の確立に関する事業

【事業の成果】

[研修会等の開催]

次の研修会を開催しました。

- ・竹島問題を考える講座 5回（6月、7月、9月、1月）
- ・絵本「メチのいた島」読み聞かせ（8月）

[竹島資料室の展示機能・展示内容の充実]

竹島資料室の年間来室者数は、5,007人です。

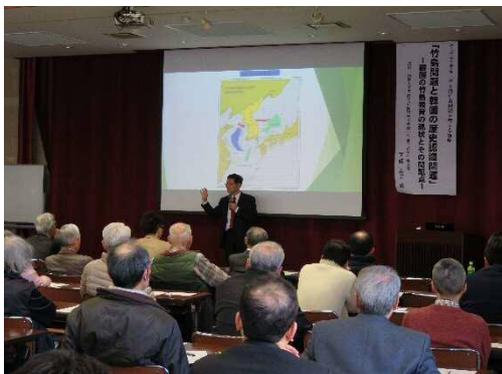
常設展示に加えて、次の展示を行いました。

- ・出張竹島資料室の開催（6月：出雲市、7月益田市）
- ・夏休み企画展示の開催（7月18日～9月3日）
- ・特別展示の開催（1月30日～3月31日）

[広報啓発資料等の作成]

- ・竹島資料室パンフレット改訂 30,000部
- ・竹島学習リーフレット 10,000部
- ・点字版啓発資料 110部
- ・啓発ブックレット2種類 各1,500部
- ・竹島啓発ポスター作成 1,500枚
- ・啓発グッズの作成

（内容）シャープペンシル3,050本、クリアファイル5,000枚
缶バッジ300個、うちわ500本、カレンダー2,500枚



事業費：6,588千円

(7) 森林の保全及び整備に関する事業

【対象事業】

みーもの森づくり事業（水と緑の森づくり事業）

【事業の成果及び事業費】

46団体が植林や森林学習などを行い、活動に必要となる経費の一部を助成しました。

<利用例>

雑木等が繁茂し荒廃しつつある集落内の里山林を再生させるため、雑木を伐採しその跡地にサクラの苗を植栽しました。植栽は、住民と地元保育園の園児達が行い、景観改善につながるだけでなく、次世代につなぐ森づくりを目指し、今後も継続して管理を行っていきます。

事業費：43,299千円



(8) 防災対策の推進に関する事業

【対象事業】

地域防災人材育成研修

【事業の成果及び事業費】

地域防災人材育成研修

地域の防災力向上に向けて、自主防災組織の結成及び活動促進、市町村職員の防災意識向上につながる研修を県内で10回実施しました。

(1) 地域防災ワークショップ、住民主体による避難訓練（大田市 5回）

(2) 地域防災ワークショップ、住民主体による避難訓練（江津市 5回）

（地区ごとの事前研修、関係機関合同ミーティング、実働避難訓練）

事業費：714千円



大田市での住民主導による実働避難訓練



江津市での住民主導による実働避難訓練

